

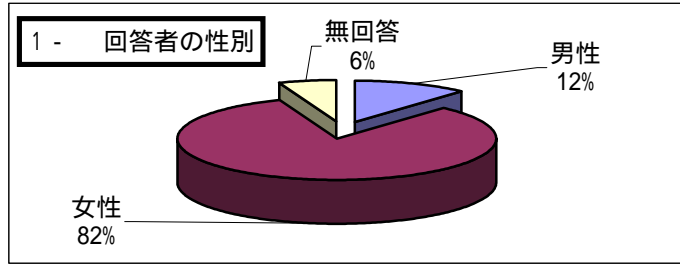
平成22年度食品の安全・安心リスクコミュニケーションアンケート集計結果  
(8 / 25 加工食品に関する意見交換会)

参加者30名(うち消費者17名)

1. 記入者について、該当するものに 印を付けてください。

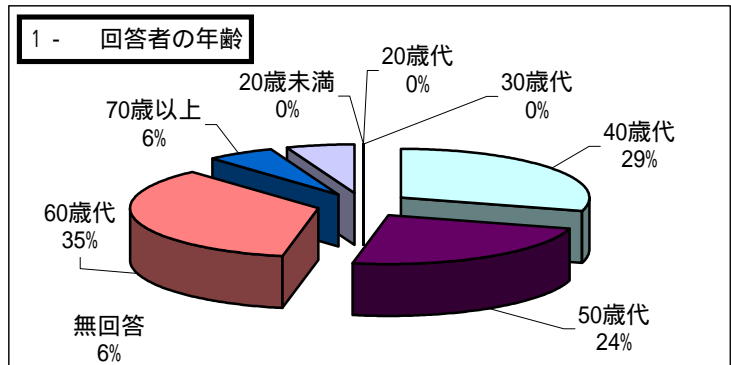
性別

男性	2
女性	14
無回答	1



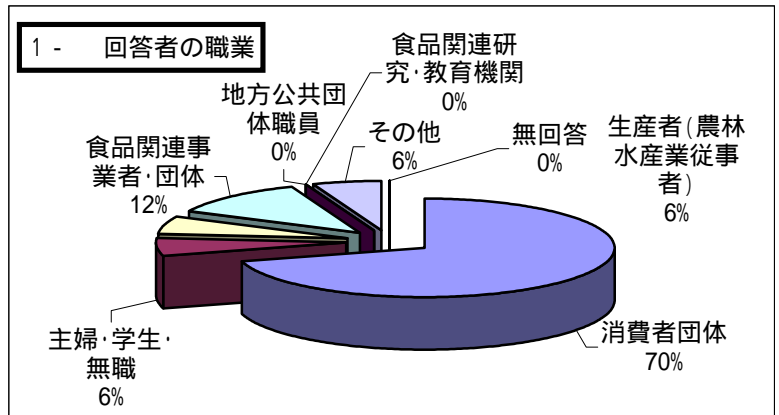
年齢

20歳未満	0
20歳代	0
30歳代	0
40歳代	5
50歳代	4
60歳代	6
70歳以上	1
無回答	1



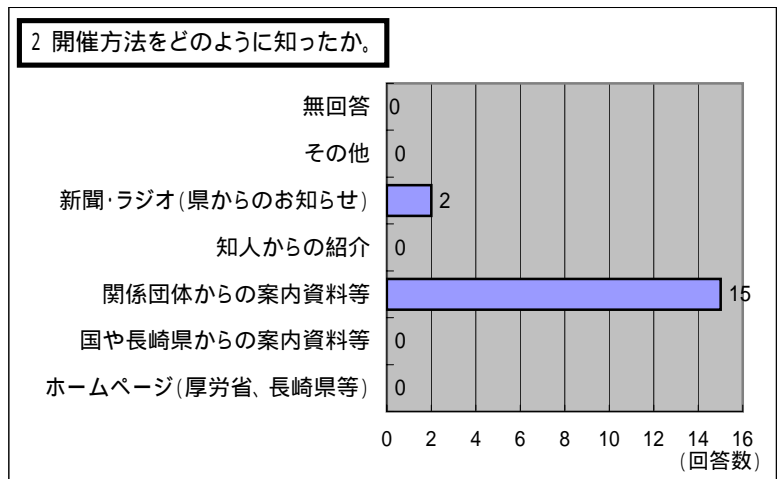
職業等(立場)

消費者団体	12
主婦・学生・無職	1
生産者(農林水産業従事者)	1
食品関連事業者・団体	2
地方公共団体職員	0
食品関連研究・教育機関	0
マスコミ	0
その他	1
無回答	0



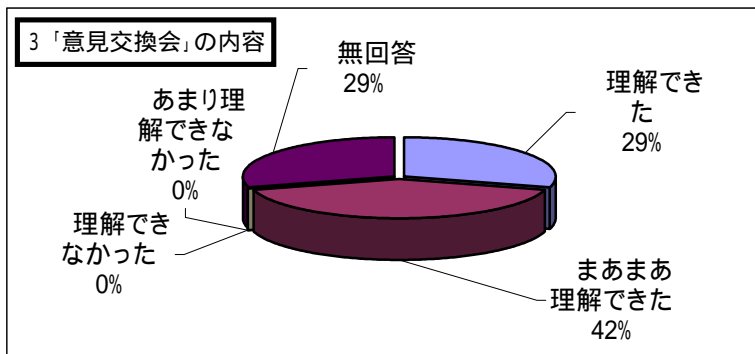
2. 本日の意見交換会の開催をどのような方法で知りましたか。(1つだけ選択)

ホームページ(厚労省、長崎県等)	0
国や長崎県からの案内資料等	0
関係団体からの案内資料等	15
知人からの紹介	0
新聞・ラジオ(県からのお知らせ)	2
その他	0
無回答	0



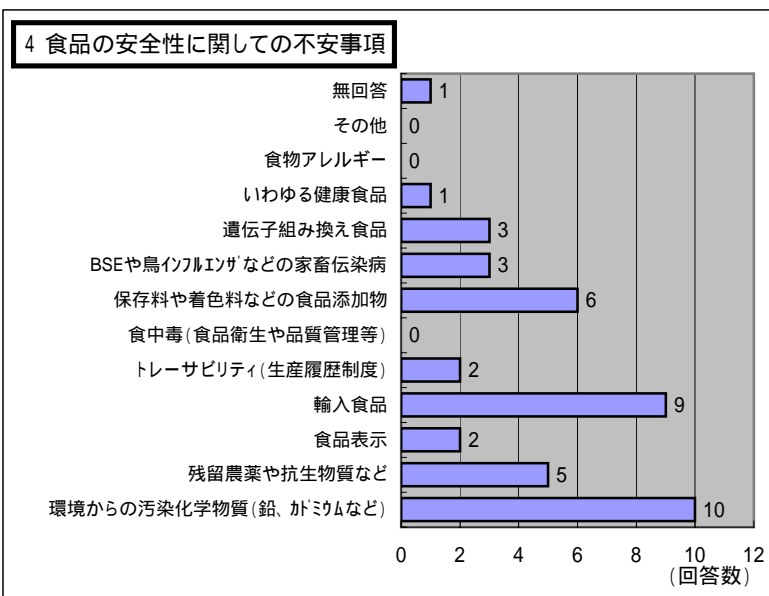
3. 本日の「意見交換会」の内容について、十分に理解することができましたか。(1つだけ選択)

理解できた	5
まあまあ理解できた	7
あまり理解できなかった	0
理解できなかった	0
無回答	5



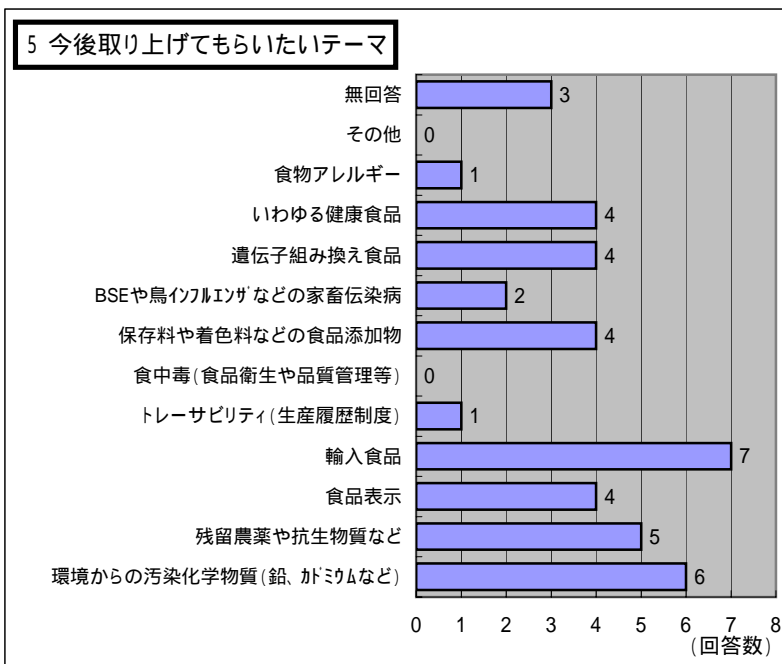
4. 食品の安全性に関して次のどの事項に不安を感じますか。(3つまで選択)

環境からの汚染化学物質(鉛、カドミウムなど)	10
残留農薬や抗生物質など	5
食品表示	2
輸入食品	9
トレーサビリティ(生産履歴制度)	2
食中毒(食品衛生や品質管理等)	0
保存料や着色料などの食品添加物	6
BSEや鳥インフルエンザなどの家畜伝染病	3
遺伝子組み換え食品	3
いわゆる健康食品	1
食物アレルギー	0
その他	0
無回答	1



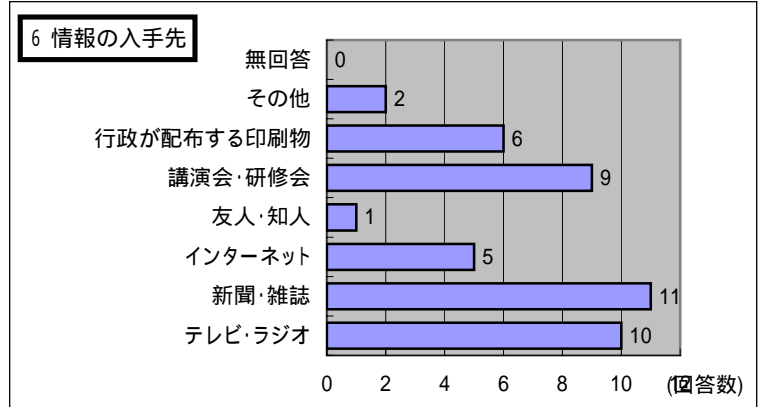
5. 「食品の安全・安心リスクコミュニケーション」で今後取り上げてもらいたいテーマは何ですか。(3つまで選択)

環境からの汚染化学物質(鉛、カドミウムなど)	6
残留農薬や抗生物質など	5
食品表示	4
輸入食品	7
トレーサビリティ(生産履歴制度)	1
食中毒(食品衛生や品質管理等)	0
保存料や着色料などの食品添加物	4
BSEや鳥インフルエンザなどの家畜伝染病	2
遺伝子組み換え食品	4
いわゆる健康食品	4
食物アレルギー	1
その他	0
無回答	3



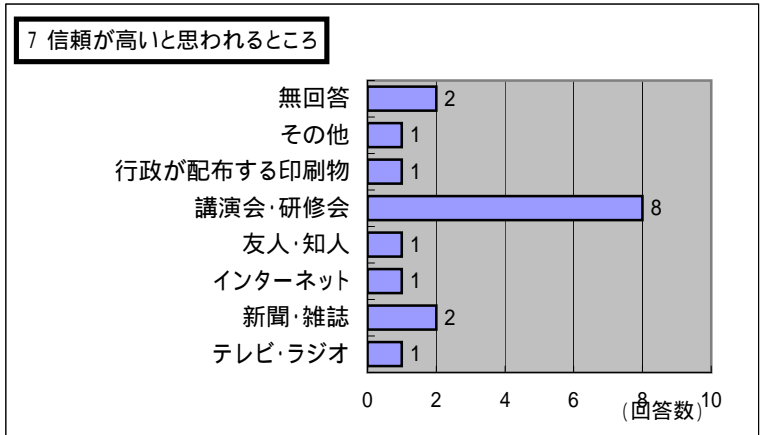
6. 食品の安全・安全に関する情報を主にどこから入手しますか。(複数回答可)

テレビ・ラジオ	10
新聞・雑誌	11
インターネット	5
友人・知人	1
講演会・研修会	9
行政が配布する印刷物	6
その他	2
無回答	0



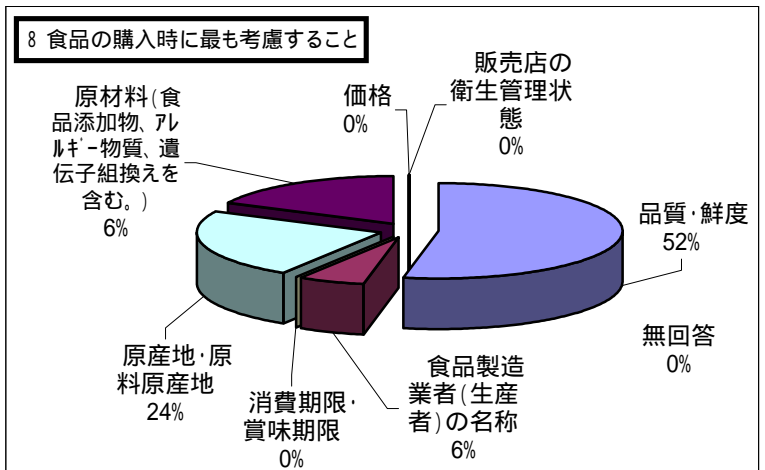
7. 6の情報を入手するうえで、もっとも信頼が高いと思われるところはどこですか。(複数回答可)

テレビ・ラジオ	1
新聞・雑誌	2
インターネット	1
友人・知人	1
講演会・研修会	8
行政が配布する印刷物	1
その他	1
無回答	2



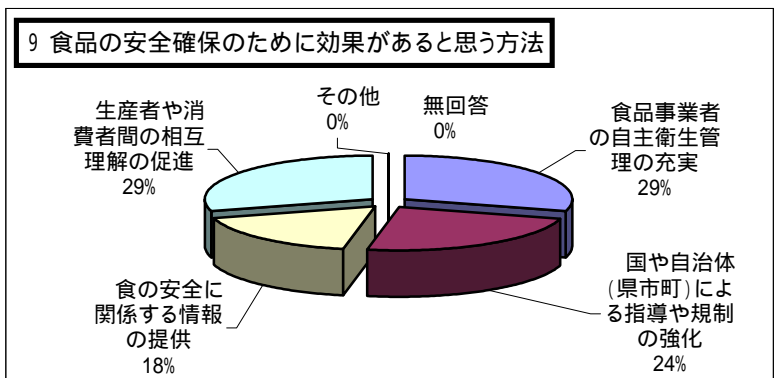
8. 食品を購入するときに、最も考慮することは何ですか。(1つだけ選択)

品質・鮮度	9
食品製造業者(生産者)の名称	1
消費期限・賞味期限	0
原産地・原料原産地	4
原材料(食品添加物、アレルギー物質、遺伝子組換えを含む。)	3
価格	0
販売店の衛生管理状態	0
特に気にしない	0
その他	0
無回答	0



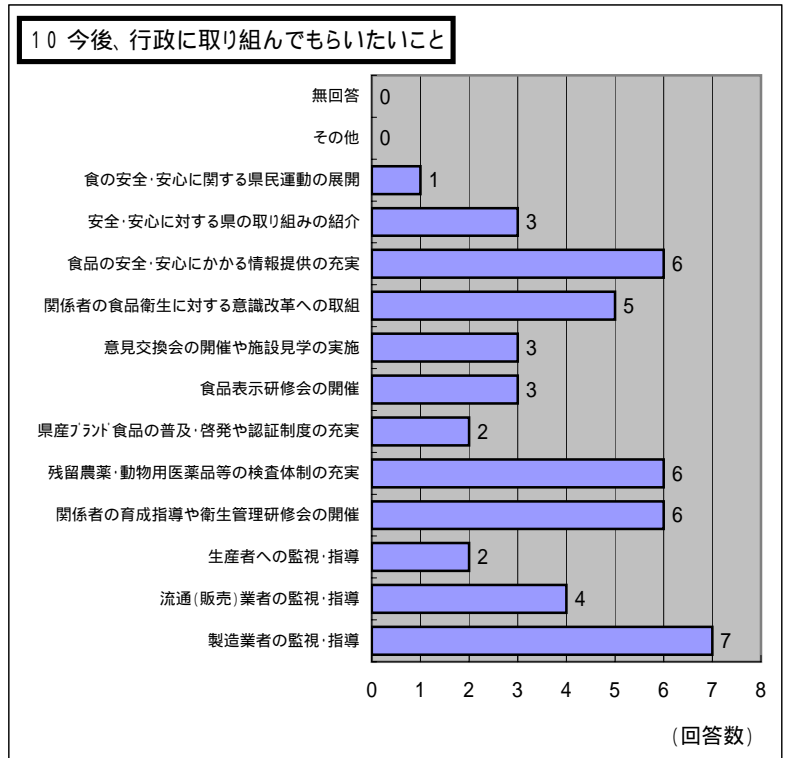
9. 食品の安全性確保のためにはどんな方法が最も効果があると思いますか。(1つだけ選択)

食品事業者の自主衛生管理の充実	5
国や自治体(県市町)による指導や規制の強化	4
食の安全に関する情報の提供	3
生産者や消費者間の相互理解の促進	5
その他	0
無回答	0



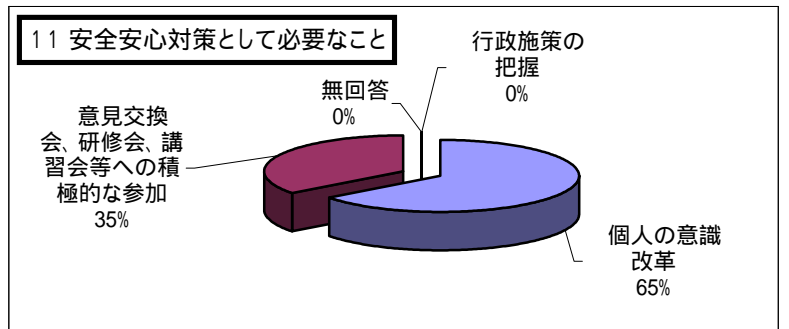
10. 食品の安全・安心に関して、今後、行政に取り組んでもらいたいことは何ですか。(複数回答可)

製造業者の監視・指導	7
流通(販売)業者の監視・指導	4
生産者への監視・指導	2
関係者の育成指導や衛生管理研修会の開催	6
残留農薬・動物用医薬品等の検査体制の充実	6
県産ブランド食品の普及・啓発や認証制度の充実	2
食品表示研修会の開催	3
意見交換会の開催や施設見学の実施	3
関係者の食品衛生に対する意識改革への取組	5
食品の安全・安心にかかる情報提供の充実	6
安全・安心に対する県の取り組みの紹介	3
食の安全・安心に関する県民運動の展開	1
その他	0
無回答	0



11. 食品の安全・安心対策として県民に必要なことは何だと思いますか。(1つだけ をつけてください)

個人の意識改革	11
意見交換会、研修会、講習会等への積極的な参加	6
行政施策の把握	0
その他	0
無回答	0



12. 今回の意見交換会について、全体の評価はいかがだったでしょうか。(1つだけ選択)

評価する	7
おおむね評価する	9
あまり評価しない	0
評価しない	0
無回答	1

